

幼稚園だより

令和5年11月30日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美

—12月号—



八広フェスティバルに向けての取り組みから

園長 金澤 里美

12月がやってきます。やはり今年も「もう12月」、「1年経つのは早かった…」と言ってしまいます。幼稚園では、9月以降、どんぐり拾い、運動会や電車での遠足など、大きな行事がいくつもありました。12月も、八広フェスティバル、もちつき、お楽しみ会など、楽しいことがたくさんあります。保護者の方にもいろいろとご協力いただきます。よろしく願いいたします。

現在、子供たちは来週行われる八広フェスティバルに向けて、遊園地の乗り物づくりやお店屋さんの準備を進めています。今月初めに行った花やしきの遠足での経験を生かして様々なアイデアを出し、自分たちのイメージを実現しようと力を合わせ取り組んできました。ぞう組さんは、昨日また新たに取り入れたいアイデアが出てきて、「あと〇日だけど間に合うかな？」と言いながらもとても張り切っていました。当日を迎えるまで、まだまだやりたいことが出てきそうでしたが、どうなるでしょうか。どうぞお楽しみに。

自分たちの遊園地に誰を招待したいかという話合いでは、うさぎ組さん、お家の人、弟や妹、こども園の年長さん、小学校の校長先生、音楽会を聴かせてくれた6年生、ツボタマン、運動会でお手伝いに来てくれた中学校のお兄さん、お姉さんも！それから…と、話が尽きなかったようです。八広幼稚園の子供たちは、初めて会った人にもすぐに親しみをもち関わるところがすてきだなと思っています。これまでの様々な人との交流の機会は、人と関わる楽しさや喜びだけでなく、自分たちが多くの人に見守られているという実感にもつながっており、それが「これまでに自分たちに関わってくれた人みんなを招待したい」という言葉に表れたのではないかと思います。

うさぎ組の子供たちは、「パンダカー」や、「おもちゃすくい」のほか、食べ物やさんなど、楽しいことをたくさん考え、つくることを楽しんできました。お店の品物のほかにおみやげも付けてくれる、サービス精神旺盛なお店やさんとのことです。私が保育室をのぞくと、毎回、「これ買ってね。」、「遊んでいってもいいよ。」と誘われます。自分たちでもお試して繰り返し遊びながら、当日、お客さんを迎えることをとても楽しみにしている様子です。

今年度の行事は、保護者の方の参加に制限を設けることなく実施してこられたことが何よりうれしいです。自分たちが頑張ってきたことを見てほしい、自分たちもいろんなことをしてあげたい、という気持ちが、毎日目的に向かって取り組む力となっていました。保護者の方も、子供たちにこれまでのいろんな話を聞いてみてください。当日は一緒に楽しんでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【12月のねらい】

うさぎ組

- 友達と同じイメージで遊ぶことを楽しむ中で、自分の思いや考えを言葉で伝えようとする。
- 自分なりにめあてをもち繰り返し取り組みようとする。

ぞう組

- 友達と一緒にルールのある遊びに取り組み、自分の力を出したり相手の良さに気付いたりする。
- コマ回しなど、様々なことに根気強く取り組みようとする。